

2014年度 日本登山医学会認定山岳医/国際認定山岳医立山クラスター 募集要項

2014年度日本登山医学会認定山岳医/国際認定山岳医立山クラスターを下記の要項通り開催します。
本年度から本学会会員の看護師の方の参加も受け入れております。本募集要項文末をご参照下さい。

応募にあたっての注意事項

立山クラスターは、参加者各自のこれまでの山で培った技術・経験を評価・検定する場です。「技術を伝授する講習会」ではありません。本募集要項後半に記載する一定程度以上の技術・経験がない場合の参加は、合格が難しいばかりでなく、危険を伴う場合もあります。そのため、参加者が、課題を実践もしくは継続することに安全上無理があると講師が判断した場合には、途中で行動中止を指示する場合があります。(その場合の参加費は返却致しませんのでご了承ください。)

1) 開催日

国際認定山岳医希望者 2014年7月19日(土) 8時30分集合～21日(月) 16時解散
日本登山医学会認定山岳医希望者
2014年7月19日(土) 8時30分集合～20日(日) 16時解散

2) 開催場所

国立登山研修所および周辺の山城 〒930-1405 富山県中新川郡ブナ坂6
Tel 076-482-1211 URL: <http://www.naash.go.jp>

3) 募集対象

下記1～3のいずれかに該当し、かつ下記のロープワークに関する要件を満たした医師(看護師)が今回の立山クラスターの募集対象となります。

- 1 昨年度(2013年度)まで立山クラスター未受講。
- 2 すでに立山クラスターを受講したが国際/国内とも不合格。
- 3 立山クラスター国内基準では合格しているが、改めて国際基準合格を目指している。

ロープワークに関する要件

(日本登山医学会認定山岳医/国際認定山岳医へのエントリー年度により要件が異なります)

- 1 2010年度エントリー 宇都宮クラスター ロープワーク講習受講は必要ありません。
- 2 2011年度以後エントリー
宇都宮クラスター ロープワーク講習を受講済み、またはそれと同等のロープワークを行えること。

下記に該当する医師(看護師)の皆様は今回の立山クラスター募集対象となりません。
また**国際/国内で合格している方のブラッシュアップのための参加はできません。**

- 1 立山クラスターに国際基準で合格済み
- 2 立山クラスターに国内基準で合格し、かつ国際基準合格を目指すつもりはない

4) 集合と解散

集合受付 国際認定山岳医／日本登山医学会認定山岳医 2014年7月19日午前8時30分

解散 国際認定山岳医希望者 7月21日(日曜) 16時解散予定

日本登山医学会認定山岳医希望者 7月20日(月曜) 16時解散予定

国際認定山岳医希望者は3日間連続、日本登山医学会認定山岳医希望者は19、20日の2日間の参加となります。一部のみの参加はできません。

5) 申込期限

2014年6月4日(水)～6月10日(火)(11日午前0時)の間に別紙参加申請書と最近の登山歴並びに講習会参加歴を、dimmtateyama@jsmmed.orgまで送信してください。

6) 参加費用と振り込み方法

参加人数により多少の変更がでるために、参加費用は現時点では確定していません。予想では日本登山医学会認定山岳医(7月19日、20日の2日間参加)40,000～50,000円、国際認定山岳医(7月19日～21日の3日間参加)70,000円前後となる見込みです。

振り込み方法、金額は参加確定の通知時にあわせてご連絡します。

7) 参加についてのその他の留意事項

(1) 宿泊と食事

- 1 参加者全員、国立登山研修所に宿泊となります。他の宿舎に宿泊しての参加は認めません。
- 2 宿泊費、食費、交通費は、事前に振り込む参加費には含まれません。国立登山研修所の宿泊費用および食費は、振込ではなく参加当日、現地受付にて現金でのお支払いとなります。1名あたり1500～2000円前後の予定ですが参加人数による変動がありますので詳細は後日連絡いたします。
- 3 18日の前泊希望の方は参加申請書にてお申し込みください。
- 4 食事の提供は研修所食堂で、19日夕食、20日朝夕、21日朝食を提供いたしますが、それ以外の食事は各自で行動食を用意して下さい。

(2) 山岳保険

山岳登はん用(ピッケル・アイゼンを用いた雪山登山・岩登り・沢登り・アイスクライミング・山スキーを行っている最中の事故にも対応)の山岳保険に必ず加入のうえご参加ください。

なお、一般の旅行保険や傷害保険では山岳登攀時の事故はカバーされておられません。

(3) 持参すべき装備 別紙装備表をご参照ください。

(4) 実習内容、要求される水準、評価 この要綱末尾の「付記」をご参照ください。

(5) 看護師の参加について

2014年度より日本登山医学会ホームページ「認定山岳医制度2014年度募集要項」に記載されておりますように、本学会会員である看護師でこの認定制度にエントリーしている方(n-〇〇番のエントリー番号をお持ちの方)で、前記の募集対象に該当する方は今回の立山クラスターに参加できます。ただし、受講内容、評価基準、および参加費は医師と同一です。

(学会ホームページ 認定制度の項をあわせてご参照ください。)

(6) 立山クラスター問い合わせ先

立山クラスター実行委員会 dimmtateyama@jsmmed.org

一般社団法人日本登山医学会事務局では問い合わせに応じておりません。

付記 1 立山クラスターの主な内容

- ① ナヴィゲーション（山岳地図の読み方・使い方、ナヴィゲーション技術）
- ② クライミング技術（ロープの結び方・収納、確保、懸垂下降、支点の知識とセットなど）
- ③ セルフレスキュー技術（ロープワークの基本、結束、簡易ハーネスの作り方、安全なアンカーの取り方、仮固定と自己脱出など）
- ④ 沢登りと搬送訓練（遡行技術、徒渉、高巻き、確保点の構築、負傷者を想定した搬出訓練など）

上記内容を滞りなく行うために以下のロープワークを参加前に体得しておく必要があります。

- 1) ロープ、スリング、カラビナ、ハーネス、ヘルメットの知識
- 2) ハーネスの付け方、ハーネスへのロープの結び方（シングルエイトノット）
- 3) ロープのたたみ方、切り方
- 4) 支点（アンカー）の知識
- 5) 自己確保（セルフビレー）
- 6) トップロープのビレー
- 7) 下降器を用いた懸垂下降
- 8) フリクションノット（プルージック、マッシャー等）による登高
- 9) ムンター（ハーフクロープ）ヒッチ、ダブルエイトノット、クローブヒッチ（インクノット、マスト結び）、ダブルフィッシャーマンズノット
- 10) 梱包・搬送（1/3 引き上げシステム等の理解）
- 11) ソウンスリングによる簡易ハーネス

付記 2 評価について

- （1） 登山技術・救助技術を含めクラスター期間中の行動全般が評価の対象となります。
- （2） 後日、日本登山医学会認定山岳医・国際認定山岳医の実習内容に関する事後課題が課せられます。指定期限内にご提出いただきます。
- （3） 日本登山医学会認定山岳医（国内認定山岳医）希望者は3日目の沢登りを受講する必要はありませんが、国際認定山岳医希望者とは異なった基準で夏山登山技術の評価が行われます。
- （4） 従って、国内認定の基準で合格した方が国際認定山岳医を希望する場合は、次年度以降、再度、立山クラスターに参加して実技評価を受け合格する必要があります。
- （5） 国際認定山岳医を申し込んだ場合の評価
 - （a） 国際基準で合格
 - （b） 国際基準不合格・国内基準で合格
 - （c） 国際・国内基準ともに不合格の3つのうちのいずれかの評価を受けることになります。

付記 3 日程の概要（天候その他の事情により講習の場所・内容が変更となる場合があります。）

7月19日（土）9時～18時（必要に応じて夕食後ミーティングあり）

- ・オリエンテーション
- ・ナビゲーション技術（4時間、理論＋実習）
- ・生存技術・疲労（2時間、理論＋実習）
- ・登山個人装備（1時間、実習）

7月20日（日）6時～16時

（国際認定山岳医希望者は必要に応じて夕食後ミーティングあり）

- ・登山技術実技夏期（8時間、実習）
- ・生存技術・疲労（2時間、実習）

研修所内人工壁および雑穀谷周辺にて登攀技術、岩場でのセルフレスキュー、生存技術など

- ・日本登山医学会認定山岳医希望者は16時解散

7月21日（月）6時～16時

- ・沢登り（実技）

白岩沢（地図 1：25000 大岩）周辺にて沢地形での行動、安全管理、セルフレスキューの実践など

- ・修了式

付記 4 講師

国際山岳ガイド連盟（UIAGM）公認ガイド 角谷道弘氏ほかプロのガイドの皆様が講師となります。

付記 5 地図

- ・クラスターを通して 1/25000 小見、大岩、剣岳

付記 6 参考書の例

- ・山岳地図の読み方・使い方 村越 真 宮内佐季子 著 樫（えい）出版社
- 全図解 レスキューテクニック 堤 信夫 著 山と溪谷社
- 北山真著「日本100岩場」④東海・関西、富山 雑穀谷、山と溪谷社 P.136